

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

香川県

地域名

高松市・太田中学校区

人権課題

同和問題・子供・高齢者・障害者・ハンセン病患者等・性的指向、性自認

目標・人権教育
のねらい

・当地域では、人権教育を中心として学校だけでなく、家庭や地域、関係機関が連携して、なかまづくりを軸として互いに認め支え合える集団づくりに取り組む。

・各学校において、個別の人権課題について学ぶとともに、発達段階に応じてなかまづくりの取組を行い、その中で、互いに認め合い、支え合い、高め合える児童・生徒の育成を図る。

各組織の動き・役割等

太田中学校区人権教育総合推進会議
→指導計画の整備、運営補助

香川県教育委員会

高松市教育委員会

各校PTA

各校学校運営協議会

文化センター
(隣保・児童館)

太田中学校区人権教育総合推進会議
→地域が一体となった人権教育について相談・協議、研究の推進、研究紀要の作成・配布

魅力ある校区をつくる会
→校区を超えたより広い地域が一体となった人権教育について報告・相談・協議

太田中学校区人権教育総合推進会議

近隣4中学校8小学校

高松市立太田中学校
指導計画に則り、同和問題・高齢者・障害者・ハンセン病患者等・性的指向、性自認について、公開授業や講演会を通じて学習した。

高松市立太田小学校、高松市立太田南小学校、高松市立鶴尾小学校
指導計画に則り、同和問題・子供・高齢者・障害者・ハンセン病患者等・性的指向、性自認について、公開授業や講演会を通じて学習した。



【合同現地研修（岡山県）】

校種間連携の
概要

小中の教職員がともに研修を受けるなど、ともに授業研究を進めることで、つながりが密になり、日ごろから情報交換をしながら、日々の子どもの指導に当たれるようになった。文化センターと各学校とが連携して児童生徒へ関わり、なかまづくりの取組を行った。また、公開授業を参観したり、共同で研究を行ったりする機会をもつことができたことにより、個別の人権課題や指導方法について学ぶことができただけでなく、連携する体制も整ってきている。

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

地域・関係機関との連携の概要

文化センター（隣保・児童館）を核に連携し、さらに深く子どもの背景をふまえたなかまづくりの取組を行うことができた。また、地域啓発チラシを地域に広く配布することで、人権教育に関する地域社会の理解を深めることができた。講演会等を行う際には、保護者や地域へも案内し、啓発や情報発信等を行った。

事業成果

- ・知識的側面：「自分の判断や行動を信じていることができる。」に、肯定的な回答をした割合

事業開始時： 74.4 % ⇒ 事業終了間際： 81.6 %

【生徒変容の分析】

様々な人権課題について学習を進めたことで、正しい知識を持つとともに、差別をなくすための実践行動を行おうとしている。また、教職員が正しい部落史認識をもって授業を行った結果、子どもの部落問題に関する認識が深まり、差別解消の思いや行動を自信をもって表せるようになった。

- ・価値的・態度的側面：「自分のことが好きである。」に、肯定的な回答をした割合

事業開始時：57.8% ⇒ 事業終了間際：68.0%

【生徒変容の分析】

なかまづくりの実践を進め、子どもたちの人権感覚を高めたことで、日常の言葉一つひとつが他者を尊重したものや、多様性を認め合うものに変容してきた。それにより、自尊感情や自己肯定感の高まりがみられた。

- ・技能的側面：「友だちが困っているとき自分から助けることができる。」に、肯定的な回答をした割合

事業開始時：86.4% ⇒ 事業終了間際：90.0%

【生徒変容の分析】

なかまづくりについての実践の中で、他者との協働の取組を積極的に行った。それにより、協働的に取り組む心情だけでなく、コミュニケーション・スキルなどの力も高まってきており、互いに認め合い、支え合い、高め合いながら、生活や学習を行えるようになってきている。

○人権教育アンケートの結果から、事業開始時と事業終了間際の肯定的な回答の割合の変化をみると、

「私のクラスは、授業中発表しやすい。」 80.8% ⇒ 86.8%

「自分のことを必要としてくれる人がいる。」 81.1% ⇒ 86.5%

「友だちや周囲の人から認められていると思う。」 84.1% ⇒ 88.4%

「私のクラスは、お互いに注意し合ったり、声を掛け合ったりすることができる。」 80.8% ⇒ 86.8%

となっており、多くの質問項目で数値が上昇した。研修などで教師の人権感覚を高め、生徒の人権感覚も高める取組を行ったことで、人権が尊重されている教育の場が保たれ、なかまづくりにも有効にはたっている。また、人権教育の充実により教員の意識改革が進み授業改善が行われたことにより、安心して学びに向かうことができるようになってきたことで、学力面でも効果をあげている。